

（件名） サハリン北海道フェア 2019 の開催

2019年12月21日から2日間、ユジノサハリンスク市最大のショッピング施設「シティモール」にて、北海道の主催による「北海道フェア」を開催しました。

毎年この時期に開かれる本フェアですが、本年度は北海道のヘルスケア関連商品のPRをテーマとして、道産米やタマネギドレッシング、そば茶などの健康に配慮した食品を揃え、健康管理機器やアプリの体験コーナーがある健康ステーションも設置しました。

ロシアにおいては国民の健康意識の高まりから、多少価格が高くても安全で健康に良い食品を選ぶ人が増えており、今回の商品や展示についても女性を中心に来場者の興味を引いていました。

例年出品している商品の中では、メロンゼリーや味噌ラーメン、赤みそ、ゴマだれなどの売れ行きが良く、リピーターと思われる方々が商品をまとめて購入していた一方で、今年は会場には立ち寄るものの、購入には至らないといった様子も目につきました。

年末年始の贈答品として毎年本フェアを利用しているという来場者からは「いつもあるミカンなどの果物や、ロシア人の好きなチョコなどの甘いお菓子がなくて残念。」との声も聞かれ、サハリン住民へのアイキャッチとなる目玉商品が少なかったことも購買意欲に影響したのではないかと考えられます。

また、今回の出展品目は前年に比べ減少してしまいましたが、この原因としてはロシアにおいて輸入手続が煩雑化し、道内製造者からの出品承諾を得ることが難しくなったことなどがあげられます。

ロシアでは国外からの投資誘致や交流の促進に積極的に取り組んでおり、世界銀行による最新の「ビジネス環境ランキング」では、190カ国（地域）中28位と日本の29位を上回る評価となっていますが、物流・通関手続に関する課題は依然多く、上記ランキングでも「貿易環境」の部門に限ると99位（日本57位）と未だ低い評価となっています。

サハリンは、北海道と物理的に距離が近く、日本製品に対する信頼度や平均所得の高さなどから道産品がさらに普及する市場としての「伸びしろ」はまだあると考えており、課題解決に向けて情報収集に努めるとともに、本物産展のような実務を通じて制度改正に対応した物流・通関ノウハウを蓄積し、ロシアビジネスの成立へつながるよう道内企業の支援に取り組んでいきます。



（ブース右）健康測定を行う人も



会場となったホール



足をとめ商品を吟味